

決算報告書

畜産勘定

(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差額	備 考
収入				
運営費交付金	622	622	-	
その他の政府交付金	148,874	148,874	-	
畜産振興事業拠出金	9,857	6,418	3,439	
調整資金より受入	49,978	-	49,978	業務経費等が見込より下回ったことによる減
畜産業振興資金より受入	24,891	-	24,891	業務経費等が見込より下回ったことによる減
諸収入	17,222	22,321	△ 5,099	補助金返還金が見込より上回ったことによる増
計	251,443	178,235	73,208	
支出				
業務経費	227,220	107,205	120,016	
畜産振興事業費	226,808	106,922	119,887	畜産業振興事業に対する補助事業費が見込より下回ったことによる減。なお、次年度への繰越額は59,351百万円
情報収集提供事業費	358	283	76	
その他業務経費	54	0	54	
肉用子牛勘定へ繰入	23,029	-	23,029	肉用子牛勘定における損失が積立金の範囲内であったため、同勘定へ繰入れる必要が生じなかったことによる減
人件費	993	806	187	
一般管理費	246	275	△ 29	決算額には昨年度の予算繰越分の執行額等が含まれることによる増
その他支出	7	-	7	
計	251,496	108,286	143,210	

注1:表示金額は百万円未満を四捨五入して表示しております。

注2:畜産振興事業費の次年度への繰越額は、養豚経営安定対策事業6,676百万円、肉用牛繁殖経営支援事業13,919百万円、肉用牛肥育経営安定特別対策事業38,611百万円及び口蹄疫畜産再生基金事業144百万円の合計です。

注3:一般管理費の決算額には、東日本大震災の影響による事務室改修工事に係る前年度からの繰越額27百万円が含まれております。

注4:一般管理費の決算額が予算額を上回った理由は、昨年度予算繰越を行った分の支出増と独立行政法人の事務・事業の見直しの基本方針(平成22年12月7日閣議決定)により本部事務所経費の縮減を求められたことから、事務所面積を縮減するための役員室改修や消費電力量を節減するために一部照明をLED化したこと等による支出増です。